

気象警報等発令時の休講の判断を変更しました

気象庁は、大雨警報などの防災気象情報と、とるべき避難行動の関係を分かりやすくし、大雨等の際の防災行動の判断を一層しやすくするため、防災気象情報の表記を見直し 2026 年 5 月 29 日から運用を開始しました。

これに伴い、本校の「警報等発令時の休講の判断」（2026 年版講座案内 23 頁）を見直し、2026 年 9 月 1 日より下記のとおり変更します。（ホームページも確認下さい）

記

1. 以下の項目(1)～(4)に該当する場合、予定していた講座は休講とします。

- (1) **午前 7 時の時点**(NHK 放送)で、**京都市内**に次の警報が発令された場合 座学 校外
- ①暴風警報又は暴風特別警報 **(従来通り変更ありません)**
 - ②レベル 4 危険警報又はレベル 5 特別警報 (河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮) **(追加)**
- (2) 前日に判断をする場合 座学 校外
- ①翌日（講座当日）にレベル 4 危険警報又はレベル 5 特別警報発令が予測される場合
 - ②現地までの交通機関が計画運休を発表した場合
- (3) 熱中症特別警戒アラート発令の場合 **(基準を明確にしました)** 校外
- ①**校外講座**で訪問する**京都市**に**前日の 14 時頃**、翌日の熱中症特別警戒アラート（最高暑さ指数 3.5 以上）が発令された場合。
- (4) 地震発生の場合 **(追加)** 座学 校外
- ②**京都市内**に震度 5 弱以上の地震が発生した場合。

2. 休講の告示

ホームページにできるだけ速やかに掲載します。状況により掲載できない場合もあります。

3. 振替講座の実施

後日振替講座を行います。但し、振替講座が実施できない場合もあります。

この場合返金はありません。

4. 凡例 校外 校外で開催される講座（⑫京の職人、⑮宗教の世界は座学扱いとします）

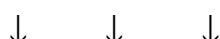
座学 教室で開催される講座

以上

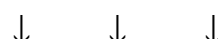
参考

警報等は次のサイトで確認できます。

防災・気象情報：日本気象協会



熱中症アラート：環境省熱中症予防情報サイト



★休講になる場合を図示しました。★

休講となる範囲

1. 気象警報・防災気象情報について（気象庁HPより抜粋）

(1) 従来からの気象警報・注意報

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、 なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

(2) 新しい防災気象情報（2026年5月29日より）

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

2. 熱中症警戒アラート・特別警戒アラート発表基準（日本気象協会HPより抜粋）

暑さ指数(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	日常生活における注意事項	熱中症予防 運動指数
都道府県内の全ての地点で暑さ指数(WBGT)が 35以上 熱中症特別警戒アラート 発表			
府県予報区等内のどこかの地点で暑さ指数(WBGT)が 33以上 熱中症警戒アラート 発表			
31以上	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも 発生する危険性が大きい。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。	運動は 原則中止
28以上31未満		外出時は炎天下を避け、 室内では室温の上昇に注意する。	厳重警戒 (激しい運動は中止)
25以上28未満	中等度以上の生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は 定期的に充分に休息を取り入れる。	警戒 (積極的に休憩)
21以上25未満	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが、激しい運動や 重労働時には発生する危険性がある。	注意 (積極的に水分補給)

参考: 環境省熱中症予防情報サイト (env.go.jp)

日本気象協会 tenki.jp